

新規実施項目のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

敬具

(記)

【項目名】 : HPV簡易遺伝子型9種

【受託開始日】 : 2026年3月16日(月)受付分より

【受託要領】

項目名称	HPV簡易遺伝子型9種
項目コード (旧コード)	14271 (5517)
報告形式	HPV判定 16型判定 18型判定 31型判定 45型判定 51型判定 52型判定 33／58型判定 35／39／68型判定 56／59／66型判定
検査容器	ThinPrep 又は SurePath
検体量・保存	患部擦過物 ・ 室温
測定方法	リアルタイムPCR法
基準値	検出せず
報告範囲	検出せず、陽性、判定不能
報告桁数	なし
所要日数	4～6日
実施料	347点
判断料	150点【微生物学的検査】
算定内容	厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、細胞診によりベセスダ分類がASC-US(意義不明異形偏平上皮)と判定された患者又は過去に子宮頸部円錐切除もしくはレーザー照射治療を行った患者に対して行った場合に限り算定できる。なお、過去に子宮頸部円錐切除もしくはレーザー照射治療を行った患者については細胞診と同時に実施した場合も算定できる。HPV核酸検出とHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)を同時に実施した場合は主たるもの1つのみ算定する。
備考	高リスク型HPV14種を検出対象とします。その中の6種類は各遺伝子型(16型、18型、31型、45型、51型、52型)について型別判定を行います。 残りの8種類は33／58、35／39／68、56／59／66の3グループに分けて、グループ毎に報告しますが、グループ内の型別判定はできません。

※裏面に続きます。

ヒトパピローマウイルス(HPV)スクリーニング検査は、子宮頸がんの発症に深く関与する高リスク型HPV感染の有無を確認することにより、子宮頸がんの予防及び早期発見に用いられる検査です。本検査は、子宮頸管部細胞中の高リスク型HPV14種類(遺伝子型)を対象とし、6つの遺伝子型(16型、18型、31型、45型、51型、52型)及び3つのグループ(33型／58型、35型／39型／68型、56型／59型／66型)として判別いたします。高リスク型HPV感染の診断及びリスク評価の補助として有用であり、子宮頸がん検診の質の向上に貢献します。